

令和4年度 我が校の学ぶ力向上策(実施計画)

【市町 目標】

○令和4年度教育施策の柱である「スクールESDくさつ」「英語教育草津のStandard」「New草津型アクティブラーニング」を推進することにより、「子どもの学ぶ力」を育成する。

【学校 目標】

○人にやさしく …みんなで学び合い、高め合おうとする風土の育成
 ○力をあわせ …ペアやグループ学習における主体的な学習活動の展開
 ○チャレンジする…より上位の課題解決をめざす一人ひとりの挑戦

【現状と課題】

○視点1 子ども自ら課題を見出し、解決していく授業スタイルのさらなる定着。
 ○視点2 考えや思いを言葉にし、方法や手段を選んで積極的に発信できる力の育成。
 ○視点3 授業を見る機会の少なさからか、授業づくりで本質に迫り切れていないことがある。
 教材研究を学年で行う時間を設定し、本質を見抜くことができる力を伸ばす。

取 組		
視点1	視点2	視点3
学びを実感できる授業づくり	学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり	子どものために一丸となって取り組む学校づくり
<p>【取組事項】</p> <p>○「今日のはてな」の活用 学習の始めに、「今日のはてな」という疑問形の学習問題を子どもたちと共に考え、読み解く力の視点を踏まえて、その答えを全員で導き出すことができるよう、授業展開を工夫する。 ○文字数指定の用紙を活用 自分の考えを文章で主張できるよう、学年の実態に合わせて、文字数を意識した書き表し方に慣れさせる。</p>	<p>【取組事項】</p> <p>○対話モデルの活用 対話モデル(キャッチボール型→卓球ダブルス型→バレーボール型)を使い、考えや思いを言葉にする対話活動に親しむ。 ○学びを発信する 方法や手段を選んで積極的に発信できる力を育成する。</p>	<p>【取組事項】</p> <p>○自己チェックシートの活用 校内研究の際に、校内研究で決めた観点について、自分の実践を振り返り、次につなげる。 ○生活科・総合的な学習の時間の見直し スクールESDを意識し、地域から教材を探したり、学校関係者以外へ発信する活動展開を作り出す。 ○おこしやす授業 日常の授業を積極的に公開することで、公開する側も参観する側も双方の授業力向上を図る。</p>

※下線部が、全国学力学習状況調査テストの分析結果を踏まえ、変更・追記した内容です。

その他 取組事項

- ・豊かな心の育成…異学年交流、ハートデーにおける意見交流、読書(読み聞かせ)
- ・「子どもが学校を創る」を合言葉に取り組むAAG活動

取組の評価

※プランに示した数値目標は、県教育委員会の取組の指標です。学校の評価指標は、それぞれの課題等の状況に応じて設定することが重要です。

	取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
全体				
視点1	「今日のはてな」「まとめ」を掲示	「今日のはてな」「まとめ」の使用率90%以上		
視点2	対話モデルの活用	対話モデル実践率80%以上		
視点3	自己チェックシートを活用したPDCAサイクルの継続	生活科・総合的な学習の時間に対する教員の満足度80%以上		
その他				

評価:【達成状況 90%以上→A 70%以上90%未満→B 70%未満→C 時期→1回目:9月 2回目:2月】

今年度の取組の課題

--